

共同で課題解決を



大阪府塗装工業協同組合
理事長 小掠 武志

暑中お見舞い申し上げます。

我が国経済はコロナ禍を乗り越え着実な改善傾向にあるなか、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」の効果も相まって、企業収益と物価、賃金の好循環が実現する「新たな経済ステージへの移行」が期待される状況となりました。

その一方で、ウクライナ戦争の長期化やイスラエルとイランの軍事衝突による国際情勢の不安定化に伴う原材料価格の高騰や価格転嫁対応、構造的な人手不足や賃上げ問題、時間外労働の上限規制等働き方改革への取り組みなど、組合員を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

昨年8月に実施しました「組合員意向調査」でも、多くの組合員が経営上の課題として従業員の高齢化や若手人材の確保、育成、売上高や利益の減少、価格転嫁問題などを掲げ、技術者や技能者を確保するため賃金の引き上げや勤務時間の適正管理、週休2日制実施の取り組みに腐心されていることが明らかとなっております。

塗装作業は労働集約的な要素が高く、業界における生産性改善の取り組みが進んでいるとは言えない状況ですが、組合員企業が持続的に成長、発展を遂げていくためには、組合組織の原点である「相互扶助の精神」に立ち返り、個々の組合員が力を合わせて共同で課題解決に取り組むことが重要であります。

組合では、理事を中心に6つの事業委員会において、国や大阪府等への公共工事の入札要件や発注増の要望、働き方改革に係る現場の実情や建設キャリアアップシステム（CCUS）に関する課題等について意見交換するとともに、国家資格である「建築・鋼橋塗装作業技能検定」の実施や、「労働安全衛生」等をテーマにした安全大会を関係団体と合同で実施することとしています。

また、若手人材の確保に向けた業界の魅力づくりや情報発信強化の取り組み、次代を担う子供達にもものづくりの魅力を発信するための「ものづくり教室」の開催や社会貢献活動、組合の財政・組織の基盤強化など、多様な事業を全力で取り組むこととしておりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、組合員、賛助会員、関係者の皆様のご健勝、ご多幸、事業のご隆盛をお祈りし、暑中お見舞いのご挨拶とさせていただきます。